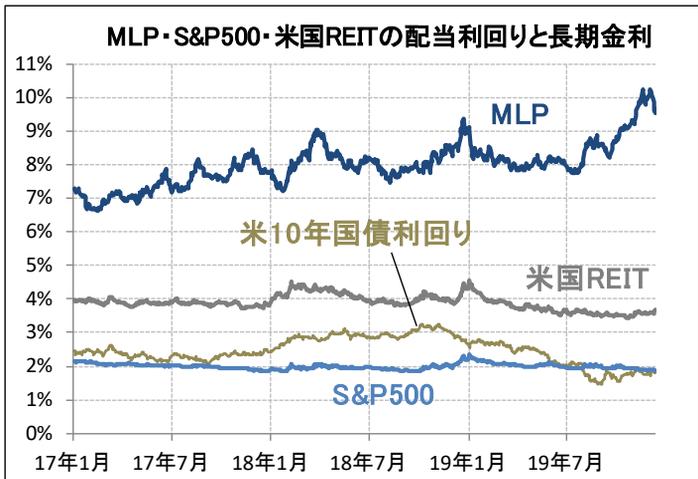
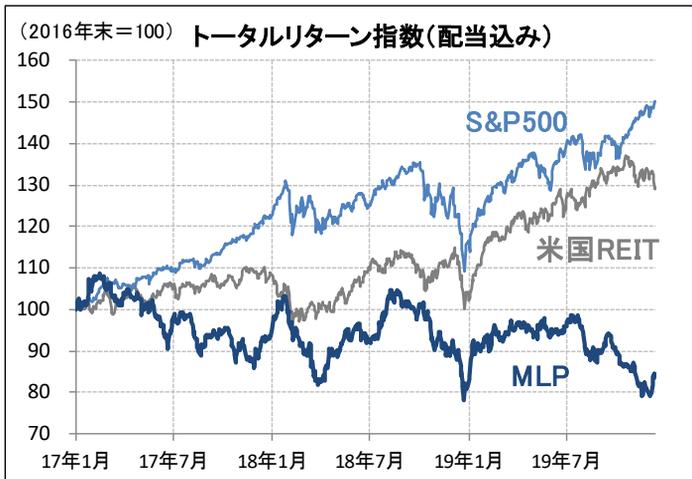




当レポートでは、パイプライン等のエネルギー関連資産を保有・運営する米国のMLP（共同投資事業の一形態）に関する情報提供を行います。

## ≪先週の米国MLP(マスター・リミテッド・パートナーシップ)市場概況≫

	アレリアンMLP指数			米国株(S&P500)		米国REIT		米10年国債利回り	WTI原油先物(ドル/バレル)	ヘンリーハブ天然ガス先物(ドル/百万BTU)
	価格指数	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り	トータルリターン指数	予想配当利回り			
2018年12月31日	222.76	1,069.00	8.94%	4,984.22	2.18%	16,595.65	4.30%	2.68%	45.41	2.94
2019年12月6日	199.99	1,043.94	10.10%	6,374.70	1.88%	21,161.21	3.58%	1.84%	59.20	2.33
2019年12月13日	208.90	1,090.47	9.66%	6,423.93	1.87%	20,566.20	3.69%	1.82%	60.07	2.30
前週比	4.5%	4.5%	-0.44%	0.8%	-0.01%	-2.8%	0.11%	-0.01%	1.5%	-1.6%
年初来	-6.2%	2.0%	0.72%	28.9%	-0.31%	23.9%	-0.61%	-0.86%	32.3%	-21.9%
前年比	-14.9%	-7.5%	1.25%	22.0%	-0.18%	15.7%	-0.29%	-1.09%	14.2%	-44.3%



(出所)ブルームバーグ (注)データ期間:2017年1月2日~2019年12月13日、MLP=Alerian MLP Index、米国REIT=FTSE NAREIT All Equity REITs Index

## ≪先週の米国MLP関連ニュース≫

- (12月9日)Enbridge社(ENB)とEnterprise Products Partners LP(EPD)は深海油田向けの原油輸出ターミナルを共同で開発する計画で合意。

## ≪先週の米国MLP市場の動き≫

先週のアレリアンMLP指数(トータルリターン)は前週末比4.5%の大幅な上昇となり、9月下旬以降の軟調地合いが続いてきたMLP市場の反転の兆しを示しました。予想配当利回りが10%を超えMLPの割安感が高まっていたこと、米中貿易協定の進展期待から足元でWTI原油相場が1バレル=60ドル前後の水準へ回復したこと、年末にかけての米個人投資家の節税対策の売り(タックス・ロス・セリング)が一巡しつつある可能性、などがMLP市場の回復を支える要因となつたとみられます。

また、米・中両国政府が12月13日に貿易交渉の第一段階の合意を公表したことで、米中貿易戦争を巡る市場の懸念が後退しつつあることは、当面のMLP市場の投資家センチメントの改善を支える要因となりそうです。

●当資料は、説明資料としてレッグ・メイソン・アセット・マネジメント株式会社(以下「当社」)が作成した資料です。●当資料は、当社が各種データに基づいて作成したもので、その情報の確実性、完結性を保証するものではありません。●当資料に記載された過去の成績は、将来の成績を予測あるいは保証するものではありません。また記載されている運用スタンス、目標等は、将来の成果を保証するものではなく、また予告なく変更されることがあります。●この書面及びここに記載された情報・商品に関する権利は当社に帰属します。したがって、当社の書面による同意なくして、その全部もしくは一部を複製し又その他の方法で配布することはご遠慮ください。●当資料は情報提供を目的としてのみ作成されたもので、当該銘柄の売買または保有を推奨するものではありません。